

太陽光発電を活用した地場産こんにゃくの製造



太陽光パネル設置図



発電システムの概要

<概要>

- 事業実施主体：（株）ヨコオデイリーフーズ
かんらぐんかんらまち
（群馬県甘楽郡甘楽町（工場の屋根））
- 発電設備：太陽光発電
発電出力 300kW
発電電力量 33万kWh/年
- 建設費：約1億5千万円
- 運転開始時期：平成23年3月

<特徴>

- 同社は、省エネに向けた取組を推進するため、太陽光発電設備を導入。
- 同社は、群馬県産のこんにゃく芋を100%原料とする食品（こんにゃく、しらたき等）を製造・販売しており、県内栽培農家と安定的な継続取引関係を構築。
- 発電した電気を本社事務所及び工場の空調機器等の電力源として利用し、年間エネルギー消費量の約18%を賄っている。
- また、敷地内の「こんにゃく博物館」には、太陽光発電で得られた電力量を表示する装置を設置するなど、来客者や周辺の農業者が、再生可能エネルギーを活用した取組を実感できるよう普及・啓発活動を積極的に展開。